

『言語文化教育研究』 投稿規定

1. 発行

- ・本誌は、言語文化教育研究会が、原則として年1回11月に、インターネット上で発行するものである。

2. 投稿資格

- ・単著の場合、投稿者は言語文化教育研究会の会員でなければならない。
- ・共著の場合は、第1執筆者が言語文化教育研究会の会員であれば投稿できるものとする。
- ・編集委員会からの原稿執筆依頼は、非会員に対しても行えるものとする。

3. 投稿原稿の内容

- ・「言語文化教育」に関するもので、未発表のものに限り、使用言語は原則として日本語とする。

4. 投稿原稿のカテゴリー

- ・投稿原稿のカテゴリーは「寄稿」、「論文」、「フォーラム」とする。

「寄稿」： 編集委員会から依頼したもの

「論文」： 言語文化教育に関するテーマで、先行研究に加えるべきオリジナリティのある研究成果が、具体的に述べられているもの。教育実践を記述した実践研究、論文や書籍を批判的に論じた批評もこのカテゴリーに含まれる。

「フォーラム」： 書評、提言、資料、現場で抱える悩みや小さな発見に基づいた議論や、実験的な研究の試み等、論文の範疇には入らない、あるいは従来の論文の形式では表現できないが、言語文化教育として公開・共有する価値が認められるもの。また、研究会の活動報告、共同研究プロジェクトの成果報告等。

5. 査読

- ・「論文」及び「フォーラム」の原稿掲載にあたっては査読をおこない、その採否については編集委員会において決定する。カテゴリー別の査読方針は以下の通りとする。

「論文」

- (1) 言語文化教育研究の知見に加えるべきオリジナリティがあるものである。

(2) データの解釈や理論的考察において、整合性のあるものである。

(3) 言説の公表が言語文化教育に貢献するものである。

「フォーラム」

(1) 言説の公表が言語文化教育に貢献するものである。

(2) 新しい観点をもつものやこれまでにない表現方法に挑戦しているものを積極的に評価する。

6. 原稿の執筆

・原稿の執筆については、別に定める「執筆要領」に基づく。

7. 投稿の締め切り

・投稿の締め切りは原則として毎年5月31日（必着）とする。

8. 提出方法

・投稿は、上記7.の締め切りまでに、下に示す『言語文化教育研究』編集委員会へのE-Mailアドレスでのみ受け付ける。送信の際、E-Mail本文に、論文名、執筆者名、所属機関、連絡先としてのE-Mailアドレスを明記し、原稿ファイルを添付すること。ファイルの形式およびファイル名の書式は、別に定める「執筆要領」に基づく。

『言語文化教育研究』編集委員会 E-Mail アドレス： submit@alce.jp

※投稿に関するの問い合わせは、メールにて、言語文化教育研究会事務局（E-Mail：contact@alce.jp）までお送り下さい。

『言語文化教育研究』執筆要領

1. 投稿原稿は原則として「Microsoft Word 形式」とし、書式等は所定のテンプレートファイル [<http://alce.jp/journal/dat/template.dot>] を利用してこれに従うものとする。
2. 分量は、規定の書式にて30ページ以内とする。
2. 投稿原稿には、本文の前に概要（400字程度）、キーワード（5語程度）を付すこと。
3. 文献は、著者別50音順にあげる。欧文その他の文献は、和文文献のあとにアルファベット順にまとめること。（詳細は、言語文化教育研究所の「論文執筆ガイド」 [<http://gbki.org/styleguide.html>] を参照）
4. 採択された論文等については、採択決定後、タイトル、キーワード、要旨の英文を提出すること。